

副幹事長就任の ご挨拶

副幹事長

澤田 亘

Sawada Wataru (56期)



このたび副幹事長に就任しました56期の澤田亘と申します。

私が所属しております弁護士法人穂高は、代表の岡田京一をはじめ、私以外は皆個性豊かな者ばかりであり、個性も乏しく、生真面目な私は、その陰にかくれ、ひっそりと皆の友新会での活躍(?)ぶりを静観しておりました。正直なところ、これまで友新会の行事や委員会活動にあまり参加せず、息をひそめていたのが最近の私です。平成27年度に葉狩が副幹事長に就任した際にも、事務所内で隣の席の葉狩の様子を「なんかようわからんけど大変そうやなあ」とまさに他人事としてみており、当の葉狩本人にも「なんか大変そうですね～」などと無責任かつ無神経な言葉を投げかけておりました。その当時は、まさか2年後に自分がその立場になるなどつゆほども思っておらず、今にして思えば、あのとき、弟弁らしく、もう少し、心温かい労いの言葉の一つでもかけ、慰労の小宴でも設けておけばよかったかなと多少後悔しております。とはいえ、仮にそのようなことをしたところで、気の利いた言葉など無縁な普段の私らしからぬ言動に、逆に気味悪がられるのが関の山なのですが。

このような私ですが、若手会において世話人をさせていただいたときは会計担当をさせていただき、このたびも会計を担当させていただくことになりました。別段数字に強いわけではありませんが、なにやら縁のようなものも感じております。

会計という場面においては個性乏しく生真面目な私の性格がプラスに働くこともあるだろうと自分に言い聞かせながら、また、私のようなこれまであまり友新会に積極的にかかわってこなかった者が副幹事長として友新会にかかわることにより、より多くの会員が友新会のこれからを分かち合うことにつながるであろうと心に留めつつ、一年間頑張ってまいりたいと思います。

一年間どうぞよろしく願いいたします。